人工知能は近年応用範囲が広がりますます注目を集めている。このように注目されるようになった理由と今後の展望および課題について以下のように考える。

　まず初めに人工知能が注目されるようになった例として、囲碁や将棋などのゲームで人間を超えるようなパフォーマンスを発揮するゲームAIが生まれてきた事が挙げられる。複雑な思考ができるようになるためには多くの時間がかかると考えられてきたが予想よりも早く実現されてしまった事で人工知能技術の進歩の速さも驚かれた。これを可能とした技術的背景としては盤面の価値を計算する強化学習をするために必要なデータを大量に集められるようになったこと、例えばゲームAI同士で対戦させることにより対戦データが集められるようになったことがある。他にもGPUなどハードウェアの進化によって計算が早くなったこと、これによりニューラルネットワークを重ねた表現力が高いモデルを運用できるようになったことも挙げられる。今後は人工知能同士で学習しあうことにより飛躍的に人工知能のプレイイングスキルが上がっていく事が考えられ、これにより人間のプレイヤーの立ち位置が変化への対応が課題である。

他の人工知能の応用として医療診断補助の人工知能がある。具体的にはIBMのWatsonが診断補助をしてうまく治療でき注目を集めたものがある。これは大量のケースを学習して目の前の患者の状態から医師にありうる診断の候補を提示するものである。これを可能としたのは、今までに医療分野で大量に蓄えられていたデータの利用と、自然言語処理技術である。将来的には医師の手を借りずとも正確な診断を下せるようになる事が考えられる。また課題は患者の命がかかる重大な診断の責任の所在や、患者の状態の把握方法などがあるだろう。